

# 広島市教育センター報

No. 9  
昭和57年2月

広島市教育センター  
広島市東区牛田新町一丁目17番1号  
〒730 電話：(082) 223-3563

## 「3 S」の真意

広島市立広瀬小学校 教頭 有馬正夫

10年ばかり前、6年生の父親に、PTA新聞に載せる卒業記念の原稿を依頼しました。その方は医師で、「3 S」という題の記事を寄せられました。それは、次のような内容でした。

『3 Sとは

**Sincerity** (誠実・誠意)

**Study** (学習・研究)

**Service** (奉仕)

の3語の頭文字のSをとっている。

医師として、どの患者にも誠意を尽くして接するように心がけていること。次に、医師という専門職である以上、不断の学習を続けなければ、真の誠意は達成できないこと。また、医師として営利を追求するのではなく、できるだけ多くの人々や社会のために奉仕することが、この世に生をうけた生きがいであり、喜びであること。これは、ひとり医師としての私だけでなく、すべての職に生きる人に共通するものと思う』。

私は、これを読んで深い感銘を覚えました。それ以来、3 Sは、私の心に深くしみこんで私の生きる教訓になっています。高潔な医師の信条ですので、私などその真意に近づくことはできませんが、教職にある者として、この言葉を常々思い浮かべては自省し、励まされている者です。

最近の教育現場での諸問題について考えてみると、教師として誠心誠意を尽くして物事

に接すれば、信頼関係や人間関係が深まり、教育効果も上がることはもちろん、事故や障害にも適切な処し方がとられると思います。

また、各校共通の課題や、各校独自の課題についても、それを解決し、一步でも教育を前進させるためには、教師の適切な研修とそれに基づく前向きな実践が必要です。過去の経験のみに安住していたのでは、教育専門職として遅れてしまいます。

深い認識と的確な実態把握、問題把握が必要な今日、問題や問題相互の関係を広い視野に立って、理解し解決していくための研修の機会を求めることが大切で、それによって教師の力量が高まることとなります。また、職場での相互の学び合いも大きな力を生み出してくれるものと思います。

各校で望ましい子ども像を設定し、それを常々子ども達に教示して、日々の生活を自発的・主体的に取り組みさせていくように努めています。この子どもの姿を教師に置き換えてみると、そこにはすばらしい教師像が見えてくるようです。

教師の道を粘り強くやり抜く先生方の姿に子ども達は心からの敬慕を表すものです。したがって、私達は心身の健康を保ち、常に教育の道に精進していく姿勢を持ち続けなければならないと思います。

# 心を耕す

作家・俳人 楠本憲吉

昭和56年度の教養講座（12月2日実施）には、講師として楠本憲吉先生をお迎えし、「心を耕す」というテーマで、2時間にわたって講演をいただきました。その一部を要約して紹介いたします。

## 5つのW

人生には複雑なことがたくさんありますが、複雑なことを複雑に考えますと出口がわからなくなってしまいます。複雑なことは単純に割り切っていただき、単純なことは複雑に考えていただきたい。これが学問であり、教育の在り方です。



楠本憲吉先生

例えば、「リンゴは木から落ちる」これは単純なことです。これを「なぜ」と疑問を持ち、複雑に考えた人がいます。ニュートンです。これから万有引力の法則を発見したのです。

つまようじの頭の部分に刻んである2本の溝はなぜつけてあるのだろうか、「感謝感激雨あられ」という言葉のルーツはどこにあるのだろうかなど、物事を「なぜ」「どうして」「いつ」「どこで」「だれが」と5つのWについての考え方を持っていただき、複雑なものは単純に、単純なものは複雑に考えますと人生が楽しくなります。

## 男の中味

あるテレビ番組で、20歳から25歳までの女性100人に「どういう男性がよいでしょうか」という結婚の意識調査を行った中に、

① 長男でない人、できれば次男か三男

② 眼鏡をかけていない人

③ 車の運転ができる人

④ 背の高い人

⑤ 27歳前後で、月収手取り35万円程度ある人

という回答がありました。

これは違うと思います。男は外見じゃありません、男の中味は「意志」です、「意志の強い人」です。

遠藤周作は、中学生の時（13歳）「おれは作家になる」とはっきり言いました。その声は、今でも私の耳に残っております。

その後、戦争がありました。結核にかかり胸を手術しました。しかし、彼はどんなことがあっても、この意志はまげなかったのです。だから、今の遠藤周作があるのです。

みなさんが子供さんを教育する時、「意志の強い子」に育てていただきたい。一度こうと決めたら、それをまげない子供に育ててください。

## 女の中味

ある雑誌に、「一番美しく、一番おしゃれな女性は日本の女性である」という記事がありました。私は、日本の女性に、

① 花を愛し、上手に花が生けられる女性

② どんなお茶でも上手にいれられる女性

③ 和服を上手に着こなす女性

④ 正しく、美しい日本語が使える女性

このような女性になってほしいと思っております。

## 読書せよ

私が今みなさんの前でお話ができるのは、中学生の頃に本だけはたくさん読んだからだと思います。

では、人間は1年間に何ページ本を読めばよいでしょうか。

1万ページ読むといいと思います。1万ページを365日で割ると、1日約30ページです。毎日1時間読めばいいわけです。

以前、ある病院に入院している17歳の少女から毎週1通の手紙が届いていました。彼女が20歳になった時、「先生、一度来てちょうだい」という手紙が来たので、彼女に会いに行きました。

彼女は、すでに目が見えなくなっていました。

「私は、先生の句集が大好きで、何べんも読みました。指先で点字の句集を読みました」というのです。

点字の句集は真っ黒になっているのです。

彼女の希望で翌年も会いに行きました。その時は、手がしびれてしまって、指では読めなくなっていました。それでも彼女は句集を読んでいたのです。舌でなめなめ読んでいたのです。こうまでしても本を読みたかったのです。

私の句集を舌で読んでいる彼女の姿を見て、私は涙がこぼれてしかたがありませんでした。

そして、彼女はしばらくしてなくなりました。

五体満足な我々は、もっともっと本を読まなければなりません。できれば、計画を立てて読んでほしいのです。

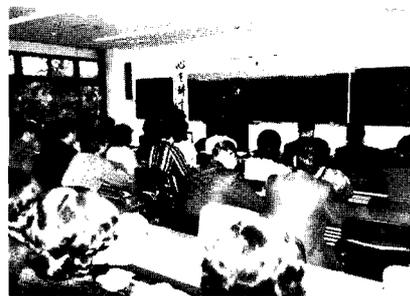
例えば、1月から6月までは美学を勉強しよう、7月から12月までは心理学を勉強しようというように。そして、本を一度にばあっと買ってしまうのです。

仲間とせっせと読書会を催すことができれば一番いいですね。

## 後ろ姿で子育てを

子供は、お母さんが一生懸命本を読んでいると、「ぼくも本を読もう」と言って本を読むものです。

お母さんが読んでいらっしゃる、書いていらっしゃる、編んでいらっしゃる、作っていら



教養講座風景

っしゃる、こんなお母さんの後ろ姿を見て子供は育つのです。

その他、「にっこり笑って叱れ」「教えることは教わること」等の内容を、ユーモアたっぷりに話されました。

## 本年度の研究事業を推進して

本年度は、研究協力員の参画・協力を得て、教科・領域及び教育分野に関する具体的な課題に関してテーマを設定し、研究を推進してきました。その研究の内容を紹介します。

### ◆ 国語科教育

文章表現力を育てるため、説明文を書く学習過程に理解学習を導入した取扱方と指導の

方法について実践授業を通して考察。作文指導のための教材研究、「学習の手引き」の工夫、個別指導の在り方を特に重視している。

#### ◆ 社会科教育

小学校社会科における地域素材の教材化の在り方について、その意義及び教材化の視点を明らかにし、第3学年の「本通り商店街」の実践例を通して、指導方法の改善について考察した。

#### ◆ 算数科教育

数量に関する基礎的な知識、技能の裏づけとして重要な数概念の理解を深める指導の在り方について、指導の系統及び第1学年を対象にした授業実践を通して研究を行った。

#### ◆ 理科教育

1

広島市立小・中学校の理科担当者を対象に、理科教育法に関するアンケート調査を行い、集計結果に基づいて性別・教職経験年数別の理科教育法に関する研修課題を模索した。

2

広島市立中学校の野外観察に関する実態調査を行い、その調査結果から本市における野外観察についての課題をみつけ、その解決への提案と、地域の身近な自然を生かした教材化の在り方について模索した。

#### ◆ 音楽科教育

小学校音楽科における鑑賞指導と連携を持たせながら歌唱の表現技能を高めることにより、より美しい表現をしようとする心情を高める歌唱指導と、その指導による心情の高まりを段階的にとらえる研究を進めた。

#### ◆ 美術科教育

中学校の「工芸」学習において、主体的意識をもち、発想が深化し、構想を定着させるには、どのように学習過程を構成すればよいかについて調査・実践研究を進めた。

#### ◆ 技術・家庭科教育

年間指導計画作成に関して、小・中学校の児童生徒の保護者を対象に実施した意識調査をもとに、履修領域選択時の問題点とその在り方等について検討を加えた。

#### ◆ 外国語（英語）科教育

従来の単語中心・音素中心の音声指導から脱却する方途として、英語の内在リズムを支えている要素を音声学に求め、リズム習得をめざす音声指導のためのデータへの変換を試みている。

#### ◆ 障害児教育

16例の自閉症児を対象に、生育史に見られる発達特徴を押さえながら、臨床像やその変容過程を現象的にとらえ、その検討の結果に基づいて、治療的指導の方法論的手がかりを検討した。

#### ◆ 教育工学

授業改善のためには、教授＝学習＝評価を一体化してとらえる必要がある。そこで、評価を効率的に行うことによって学習効果を上げるための手だてを、アナライザー使用の面から研究を進めた。

#### ◆ 幼稚園教育

表現力を育てるために配慮すべき事項を予測し、環境構成の工夫、子どもの相互作用などの点から幼児の活動過程を観察することによって、表現力を伸ばす手だてについて研究を進めた。

#### ◆ 社会教育

吉島公民館エリア内の3小学校4年生の保護者を対象（回答数352名）に、住民の公民館観や自由時間の状況についてアンケート調査を行い、実態把握と事業の在り方について模索した。

## 本年度の研修講座への参加状況並びに図書・資料の利用状況

### ◆ 研修講座への参加状況

本年度は、研修講座を「基本研修」と「専門研修」に区分し、合わせて86講座を計画実施しました。

運営に当たっては、自主的・意欲的な研修をめざし、研修効果を高めるため、講義、実践発表、研究協議、演習、実習、実験、実技等多様な方法を取り入れて実施しました。

以下、今年度実施した講座への参加状況をふりかえってみます。

○ 12月末現在で、延べ9,030名の参加がありました。

○ 例年のように、夏季休業中に実施した実験・実技講座や研修講座には、特に、多数の参加がありました。これは、時期的に参加しやすいこと、日々の教育活動へ直接つながる教材研究や事例研究が講座内容として多かったことなどが魅力になっていると思われる。

○ 年間5回継続して行った研究講座は、個々が研究テーマを設定し、意欲的・主体的な研究が行われ、年々充実してきています。

○ その他、教育相談講座に高校の先生方の参加が多かったこと、教育機器技法講座には小学校の先生が多数参加されたことなどがあげられます。

次に、講座に参加されての感想の2、3を紹介いたします。

・理論から実践まで、幅広く勉強ができ、とても参考になった。

・長年、教員をしていて、ともすれば忘れがちな基本を、今一度整理ができ、新鮮な気持ちで受講することができた。

・具体的な実技の研修をさせていただき、機器の扱い方が習得できてありがたかった。

・講義も結講だが、「私は、このようにして問題を持つ子を立ち直らせた。」というような

実践を通した研修内容をもっと入れてほしい。

このような声を参考にして、一層充実した研修を願い、来年度の構想を練っています。

### ◆ 図書・資料の利用状況

教育実践や教育研究の推進に役立つ図書や資料の収集に努め、現在、約8,000冊の図書を所蔵することができました。

また、図書以外に、市内の学校・公民館をはじめ、県内・県外の教育関係機関で刊行された「具体的活動・作業化を重視した学習指導の研究」「生活習慣のしつけ」「家庭における性教育についての親の意識に関する研究」などの研究資料の提供を受け、現在、約1,300部収集し利用に供しています。

本年度の利用の状況をみますと、

○ 図書の利用については、年度を追って増加しており、昨年度と比較すると、貸出し冊数、貸出し者数とも約1.5倍になっています。

利用者を見ると、研修講座に参加された方々が、借り出される場合が大部分を占めていますが、中には、校内研修での利用や個人で年間通して利用された方もあります。

時期的には、夏季・冬季の休業前の貸出しが目立ちます。

○ 利用される図書は、学級経営、学習指導法に関するもの、教科教育に関するもの等日々の教育実践に直結した図書が大部分です。

○ その他、「………に参考になる図書や資料はないか」「………についての資料を紹介してほしい」など、電話による問い合わせも増えています。

利用の便宜を図るため、教育図書資料目録第2集（資料編）、第3集（図書編）を引き続いて刊行する予定です。

なお、小・中学校用の教科書並びに教育雑誌（30種）も備えています。ご利用ください。

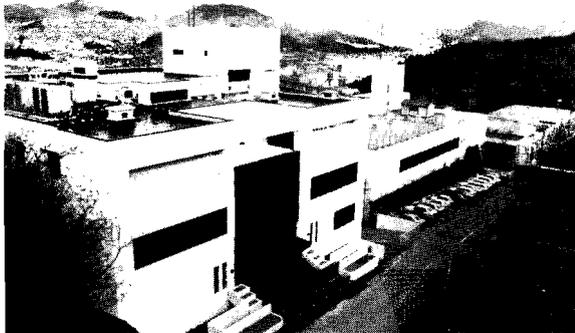
## 教育センターニュース

### ◆ 完成間近い第二期(増築)工事

昭和55年11月に着工した第二期工事は、順調に進み、3月完成をめざして、最後の仕上げが、急ピッチで行われています。

本体工事はほぼ仕上がり、現在は視聴覚機器関係等の設備工事や、備品の搬入等が進められています。

各種の新鋭機器を備えた施設を整えて、来年度からの研修・研究に活用していただくよう準備をすすめております。



完成間近い別館

### ◆ ロビーをかざる陶壁画

増築部分の2・3階ロビーに、縦7.3m、横7.8mの陶壁画が出来つつあります。

「教育の曙」と題されたもので、ギリシャ神話の中の女神と、楠をデザインしたもので、きびしい研修・研究の中で、憩いのときに、ご覧いただけたらと思います。



ロビーの陶壁画

### ◆ 研究発表大会に参加

中・四国教育研究所連盟主催の教育研究発表大会が、去る10月8日、9日の両日、愛媛県教育センターで開かれました。

広島市教育センターから、原 克昭、三宅周平両指導主事が参加し、研究発表を行いました。

原 指導主事は「自閉症児の理解と指導に関する研究」、三宅指導主事は「中学校の気象教材における実験開発——相対湿度の完全理解を求めて——」を発表し、いずれも教育実践に役立つ研究として注目されました。

### ◆ 教員研修留学生在が来所

去る1月12日、広島大学へ昨年10月より留学している、タイ、韓国、メキシコ（現職は高校教諭、大学教授、文部省初等教育指導課指導官など）の教員研修生の9名が来所されました。

お互いの国における研修制度や研修内容について意見交換を行いました。

### ◆ 録音テープの利用について

昨年12月においでいただいた楠本憲吉先生の講演をテープに録音しております。

貸出しをいたしますので、ご活用ください。

### 編集後記

▲ またたく間に一年が過ぎようとしています。今回は“教育センターの事業の一年をふりかえって”を中心に編集しました。▲ 今年度計画した研修講座は終了しました。真剣なまなざしで受講されていた諸先生方の顔が浮かんでまいります。▲ 来年度は、新しく完成した別館で、研修を実施することができます。ご期待ください。